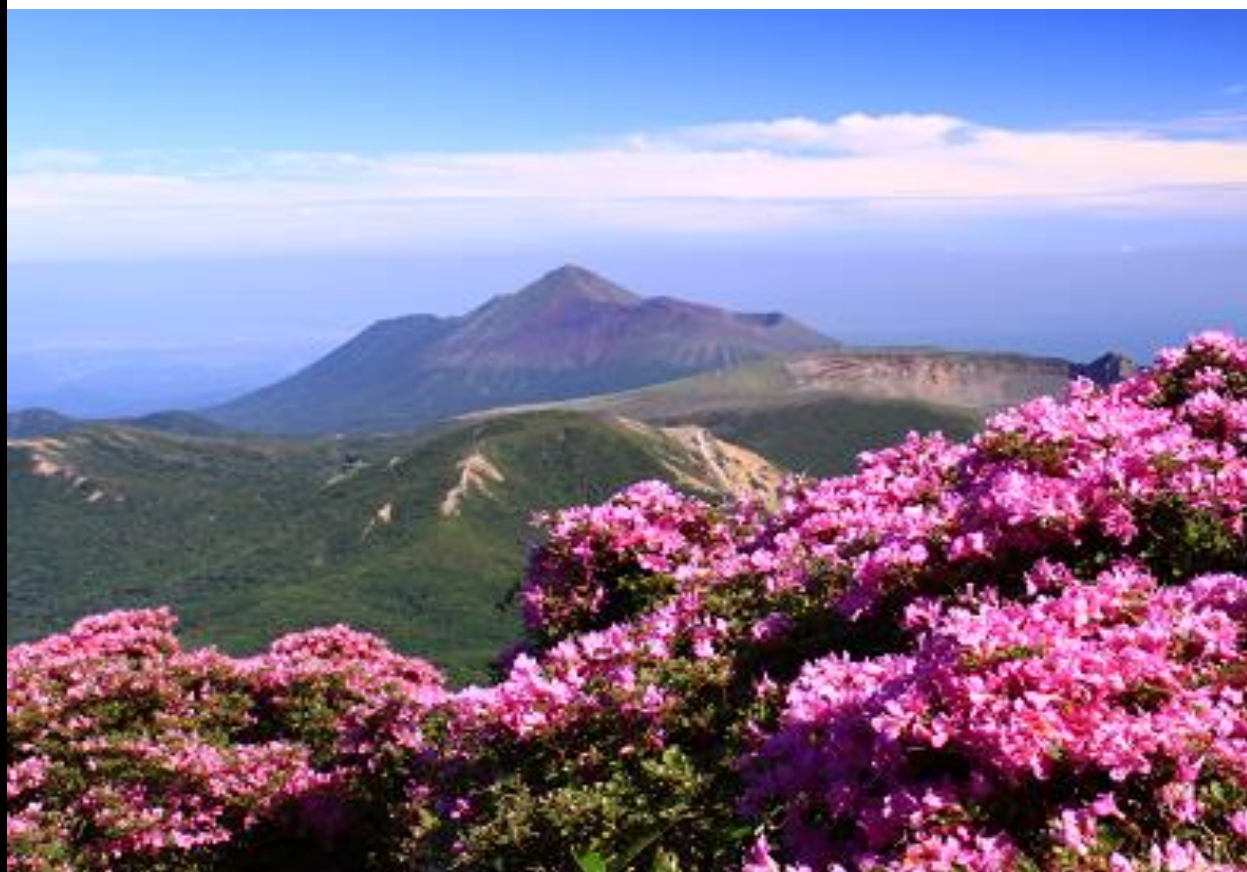


令和7年度



霧島市の概要



霧 島 市 の 四 季



霧島市議会事務局

市章(平成17年11月7日制定)



霧島連山と「K」がモチーフ。上から「花は霧島」の花と夢と元気と霧島連山。みどりで山々と豊かな平野部。紺で水清き天降川。下の紺で波静かな錦江湾。全体に躍動感をつれて雄大な自然と市民が融合し、世界へ躍進する霧島市を表現しています。

市の宣言(平成18年2月1日制定)

道義高揚・豊かな心推進宣言

国際観光文化立市宣言

環境共生宣言

増健・食農育宣言

非核平和宣言

市花



ミヤマキリシマ



ハナタバコ

市木



クロガネモチ



モミジ

霧島市民憲章

朝な夕なに

霧に浮かべて^{こうごう}神々しく^{そび}聳える霧島山

波静かな錦江湾に映える桜島山

この^{うるわ}麗しき大自然に抱かれて

^{ほうじょう}豊穡な大地には^{じょうもん}はるかなる縄文の昔より

^{あせ}汗して^{なりわい}生業を^{きず}築いてきた私たちの祖先

^{ゆうきゆう}悠久の歴史を^{きざ}刻んで今ここに

^{なないろ}七色のまちが一つになる

限りなき可能性と^{みりよく}魅力^ひを秘めた

神話のふるさと霧島市

私たちは

母なる地球の生命体の一員として

^{きょうせい}共生と^{じゅんかん}循環の心豊かな社会をめざし

新たな^{あゆみ}歩を共に始める

さ 霧島の ^{ゆうきゆう}悠久のとき ^{はぐく}育みて
伝統・文化を未来へつなぐ

り ^{りん}凛とした 霧島人の 友好は
世界に広がる 交流の和

し しなやかな ^{きずな}心と絆 ふれあいで
笑顔・安心 ふるさと創り

ま 守り抜く 豊かな自然 共生の
^{とわ}永遠に^{ほこ}誇れる 美しき里

し 信じあう 調和と^{きょうじょ}共助で 約束す
^{かがや}輝く明日を ^{あした}霧島の地に

目 次

第1編 霧島市の概要

1 沿 革	1
2 地 勢	1
3 人 口	1
4 面 積	1
5 特 色	1
6 まちづくりの基本理念	1
7 主要指標データ	2

第2編 議会の概要

1 正副議長	3
2 議会構成	3
3 議員	3
4 委員会組織	4
5 会議の状況	5
6 議会運営	6
7 報酬・費用弁償等	7
8 議会費の令和7年度予算	8
9 議会事務局	8
10 標準的な会期	8

第3編 市政の概要

1 行政機構図	9
2 各総合支所	10
3 その他の関係団体	10
4 職員数	10
5 予算の概要	11～13

第4編 その他

1 市庁舎(シビックセンター)の概要	14
2 議会だよりの概要	15

第 1 編 霧 島 市 の 概 要

1. 沿 革

平成17年11月7日に、1市6町(国分市、溝辺町、横川町、牧園町、霧島町、隼人町、福山町)が合併して、「霧島市」が発足した。

※ 新市の名称「霧島市」選定の理由

1. 霧島は日本で最初の国立公園指定の地域であり、美しい自然や温泉、天孫降臨の神話など全国的に観光地としての知名度が高い。
2. 始良中央地区は、雄大な霧島連山の懷に抱かれ、育まれた地域であり、新市名称としてイメージしやすい。
3. 地域内外からの名称募集件数が最も多く、親しみやすい名称である。

2. 地 勢

霧島市は鹿児島県本土のほぼ中央部に位置し、北部は国立公園である風光明媚な霧島連山を有し、南部は豊かで広大な平野部が波静かな錦江湾に接し、湾に浮かぶ雄大な桜島を望むことができる。また、霧島市は霧島山系から裾野、平野部を経て錦江湾まで流れる清く豊かな天降川、その流域に広がる豊かな田園、そして山麓から平野部まで温泉群を有しており、海、山、川、田園、温泉など多彩で豊かな地域である。

3. 人 口

(令和7年4月1日現在)

【霧島市地区別人口】

男	59,281 人
女	63,077 人
合 計	122,358 人
世帯数	62,702 世帯

地 区	人 口	世帯数	人口割合%
国 分	59,486	29,696	48.6
溝 辺	7,539	3,758	6.2
横 川	3,192	1,837	2.6
牧 園	5,514	3,302	4.5
霧 島	4,101	2,337	3.4
隼 人	38,526	19,484	31.5
福 山	4,000	2,288	3.3
計	122,358	62,702	100.0

※ 人口、世帯数は令和6年4月1日現在の住民基本台帳人口

4. 面 積

603.17km²

※ 鹿児島県総面積(9,132.42km²)の6.6%を占め、県内では薩摩川内市に次いで2番目に広い面積を有している。高低差は海拔は0mから1,700mとなっている。

5. 特 色

- ① 陸・海・空の交通体系が整った南九州の交通の要衝である。
- ② 地域特性を生かした農産物、農産加工品、特産品が豊富である。
- ③ 企業・大学が立地しており、さらに誘致できる条件に恵まれている。
- ④ 自然及び歴史的資産、観光資源が豊富で、個性ある地域の文化が息づいている。

6. まちづくりの基本理念

世界にひらく、人と自然・歴史・文化がふれあう都市

※「霧島市新市まちづくり計画」に掲げた基本理念を踏襲しました。

7. 主要指標データ

【参考1】

	世帯数	人口	男	女	増減率 (%)
H02国調	43,780	116,247	56,746	59,501	5.7
H07国調	47,504	122,279	59,476	62,803	5.2
H12国調	51,672	127,912	62,713	65,199	4.6
H17国調	52,395	127,309	61,371	65,938	▲ 0.5
H22国調	53,971	127,487	61,135	66,352	0.1
H27国調	54,334	125,857	59,966	65,891	▲ 1.3
R02国調	55,586	123,135	58,976	64,159	▲ 2.2

【参考2】

	高齢化率	合計特殊出生率 (健康増進課資料)
H17国調	21.62	1.57
H18	21.62	1.65
H22国調	22.35	1.84
H27国調	25.30	1.78
R02国調	28.00	1.65

【参考3】

※ 下段(%)は、構成比

区 分	第1次産業 就業者数(人)	第2次産業 就業者数(人)	第3次産業 就業者数(人)
	2,657 (4.9%)	14,656 (26.8%)	35,911 (65.7%)
出 典	令和2年国勢調査 (霧島市統計書(令和5年度)より抜粋)		

区 分	製造業(R2.6.1現在)		商 業(R3.6.1現在)	
	事業所数	製造品出荷額(円)	事業所数	商品販売額(円)
	134	30,710,674万	1,015	215,173百万
出 典	霧島市統計書(令和5年度)			

【参考4】

	宿泊観光客数	日帰り観光客数	合 計
県 内	208,080人	4,976,373人	5,804,292人
県 外	578,085人		
国 外	41,754人		
計	827,919人	4,976,373人	5,804,292人
出 典	霧島市統計書(令和6年度) ※令和5年		

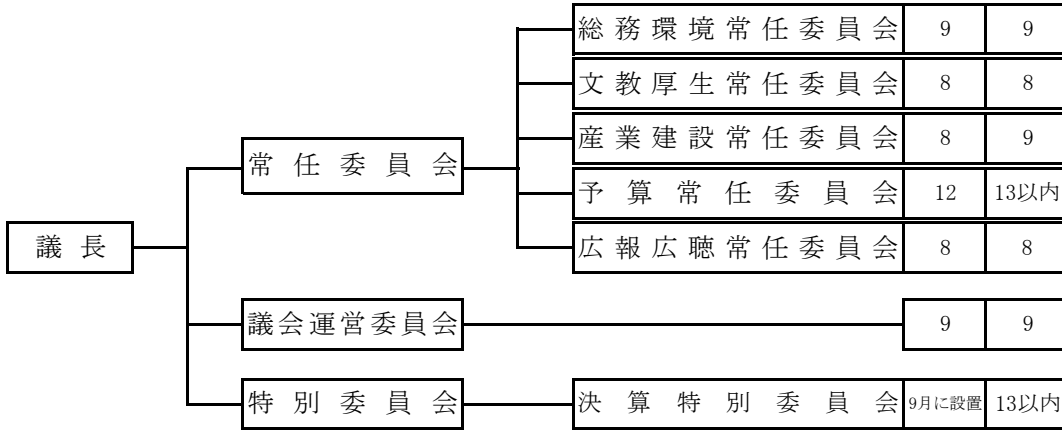
第 2 編 議 会 の 概 要

1. 正副議長（ 令和7年4月1日現在 ）

職 名	氏 名	就 任 年 月 日
議 長	仮 屋 国 治	令和5年12月4日
副 議 長	前 島 広 紀	令和5年12月4日

2. 議会構成（ 令和7年4月1日現在 ）

(現員数) (定数)



3. 議 員

(1) 任 期

令和3年11月27日 ～ 令和7年11月26日

(2) 定 数

条例定数	26 人	現 員 数	25人
------	------	-------	-----

※旧市町区別の議員数（ 令和7年4月1日現在 ）

旧市町区	国 分	溝 辺	横 川	牧 園	霧 島	隼 人	福 山	合 計
人 数	11 人	2 人	1 人	1 人	1 人	7 人	2 人	25 人

霧島市における最初に行われる選挙により選出される議会の議員の任期に相当する期間に限り、合併前の各市町の区域ごとに選挙区を設置し、特例適用後の一般選挙からは選挙区は設置していない。

<議員定数の変遷>

合併前

旧市町の定数	国分市	溝辺町	横川町	牧園町	霧島町	隼人町	福山町
	24人	16人	14人	16人	14人	22人	14人
	合計 定数 120人						

合併後

	1 期 目	2 期 目	3 期 目	4 期 目	5 期 目
	定数48人 合併特例を採用 (選挙区あり)	定数34人 (選挙区なし)	定数26人 (選挙区なし)	定数26人 (選挙区なし)	定数26人 (選挙区なし)
任期	H17年11月27日～ H21年11月26日	H21年11月27日～ H25年11月26日	H25年11月27日～ H29年11月26日	H29年11月27日～ R 3年11月26日	R 3年11月27日～ R 7年11月26日

(3) 当選回数別議員数（ 令和7年4月1日現在 ）

1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	合計
9 人	6 人	3 人	3 人	4 人	人	人	人	人	25 人

最年長 80歳

最年少29歳

平均59.12歳

※当選回数は、霧島市からの累計

(4) 党派・会派別（令和7年4月1日現在）

党 派	共産党	公明党	無所属	合 計	7 会 派
日本共産党霧島市議団	2 人			2 人	
公明党霧島市議団		3 人		3 人	
霧 島 市 政 ク ラ ブ			5 人	5 人	
市 政 会			2 人	2 人	
若 獅 子 会			4 人	4 人	
い っ し ん 会			5 人	5 人	
きりしま政経研究会			2 人	2 人	
会派に属さない議員			2 人	2 人	
合 計	2 人	3 人	20 人	25 人	

4. 委員会組織

(1) 常任委員会

委 員 会 名	任期	所 管 事 項
総務環境常任委員会	2年	市長公室、総務部、企画部、市民環境部、消防局、会計課、選挙管理委員会、監査委員、固定資産評価審査委員会及び公平委員会の所管に関する事項並びに他の常任委員会の所管に属さない事項
文教厚生常任委員会	2年	保健福祉部及び教育委員会の所管に属する事項
産業建設常任委員会	2年	農林水産部、商工観光部、建設部、上下水道部及び農業委員会の所管に属する事項
予 算 常 任 委 員 会	1年	予算に関する事項 (選出方法) 原則として議長及び監査委員を除く議席番号の奇数・偶数により議員の半数ずつが毎年、交互に委員になることを基本とする。令和6年は、議席番号が偶数である議員11名の委員で構成する。会派所属議員が一方に偏る場合等は調整する。
広報広聴常任委員会	2年	議会広報誌の編集及び発行並びに議会広報広聴の実施、調査、研究に関する事項 (選出方法) 総務環境常任委員会、文教厚生常任委員会、産業建設常任委員会、議会運営委員会から2名ずつ

(2) 議会運営委員会

任 期	2年
選出方法	令和7年4月1日現在の各会派1人(5人以上の会派は2人)の8人と、各常任委員会の状況を考慮し、1人を選出する。計9人

(3) 特別委員会

① 決算特別委員会

任 期	概ね所期の目的が達成されるまで(通常9月議会から12月議会まで)
選出方法	原則として議長及び監査委員を除く議席番号の奇数・偶数により議員の半数ずつが毎年、交互に委員になることを基本とし、令和6年は議席番号が奇数の議員で構成する。
決 算 審 査	9月定例会に決算が提出され、会期末に決算特別委員会を設置。10月～11月にかけて特別委員会を開催し、決算を審査。審査期間は例年7日程度。12月議会冒頭で委員長報告、質疑応答、採決。但し、改選の年は、9月定例会中に審査をし、会期末に採決。

5. 会議の状況（令和6年1月1日～令和6年12月31日）

(1) 本会議の開催状況(臨時会)

区 分		会 期		本会議数	一 般 質 問	
定例会	第1回(3月)	2月19日～3月27日	38 日	7 日	4 日	20人
	第2回(6月)	6月11日～7月2日	22 日	6 日	4 日	20人
	第3回(9月)	8月27日～9月25日	30 日	6 日	4 日	21人
	第4回(12月)	11月25日～12月20日	26 日	6 日	4 日	19人
臨時会	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-
年 間 合 計			116 日	25 日	16 日	80人

(2) 委員会等の開催状況

名 称		会期中	閉会中	合計	行政視察	備 考
常任委員会	総務環境委員会	4	1	5	1回 3日	
	文教厚生委員会	4	1	5	3回 5日	
	産業建設委員会	4	2	6	2回 4日	
	予算委員会	11	0	11	-	
	広報広聴委員会	4	12	16	1回 3日	議員と語ろかい及び議会 だより編集が主な内容
議会運営委員会		10	7	17	1回 3日	
決算特別委員会		0	6	6	-	
全員協議会		11	2	13	-	

(3) 請願・陳情処理状況

区 分	採択	一部採択	趣旨採択	不採択	取り下げ	その他	計
請願書	0	0	0	0	0	0	0
陳情書	2	0	0	4	0	2	8

※その他は、みなし採択

(4) 付議事件と議決状況

区 分		原案可決	修正可決	否決	その他	件 数
法 96 条	条 例（第 1 号）	33				33
	予 算（第 2 号）	23				23
	決 算（第 3 号）	10				10
	第4号～14号まで	21				21
法96条1項15号、2項関係		50				50
法 179 条 専 決 処 分		7				7
意 見 書		6				6
決 議		0				0
そ の 他		0				0
計		150	0	0	0	150

6. 議会運営

(1) 質 疑

① 議案に対する質疑

通 告 期 限	議案処理日の2日前(休日を除く)の午後1時から前日の正午まで
発言回数等	3回まで(時間の制限なし)又は一問一答(答弁まで含め30分以内)のどちらか選択
通 告 方 法	個人
そ の 他	質疑は、議題となっている議案が対象

② 報告に対する質疑

行 政 報 告	なし
委員長報告	有り

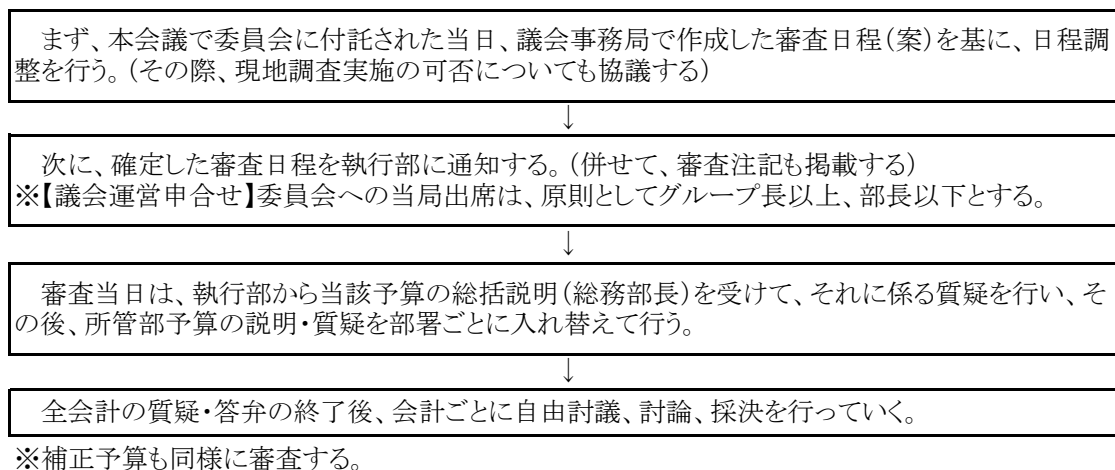
(2) 一般質問

通 告 期 間	招集告示日の翌日午前8時30分から招集日翌日の午前8時30分まで
質 問 順 位	原則として通告順(質問者の割振りは行っていない)
質 問 回 数	制限なし (一問一答方式)
通 告 方 法	個人
質 問 時 間	1人 30分以内 (答弁時間は含めない)
代 表 質 問	なし

(3) 請願・陳情

請 願	すべて上程し、所管の委員会に付託
陳 情	提出者が市外居住者の場合及び地方自治体になじまないものは、上程せずに配付のみ。他のものは、原則上程し、所管の委員会に付託。いずれも議会運営委員会で決定する。

(4) 予算の審査方法



(5) 決算の審査方法

当初予算審査、補正予算審査と同様の方法で運営している。そのうち現地調査は、審査日の初日に実施することが多い。
--

(6)出席要請(説明者)の範囲

本会議	市長、教育長、選挙管理委員会委員長、公平委員会委員長、農業委員会会長、代表監査委員
委員会	所管事務調査・・・所管の部長及び関係職員 陳情・請願審査・・・所管の部長及び関係職員、陳情・請願提出者

(7)会議録の記載方法

本会議	全文筆記
委員会	全文筆記

(8)委員会の公開

委員会の公開	公開
--------	----

(9)議会刊行物の状況

区分	名称	発行頻度	発行部数	備考
定期刊行物	霧島市議会だより	年4回	1回に40,500部	
不定期刊行物	なし			

7. 報酬・費用弁償等 (令和7年4月1日現在)

(1) 議員報酬等

議 長	540,000 円
副 議 長	432,000 円
常任委員長	412,000 円
議運委員長	412,000 円
議 員	402,000 円

期末手当

支給月数	6月期	1.725か月
	12月期	1.725か月

※期末手当基礎額(報酬月額×15%)

(2)費用弁償

本 会 議 ・ 委 員 会	支給区域は、国分庁舎から片道1.5キロメートル以上の区域とし、旅費は車賃(1キロメートルにつき37円)とする。
---------------	---

(3)行政視察旅費

常 任 委 員 会	81,000 円/人		日 当	宿泊料(県外)
議 会 運 営 委 員 会	81,000 円/人	議 員	3,000 円/日	14,800 円/泊
特 別 委 員 会	0 円/人	職 員	2,200 円/日	10,900 円/泊

※会派の視察旅費はなし。 ※海外視察旅費はなし。

(4)政務活動費

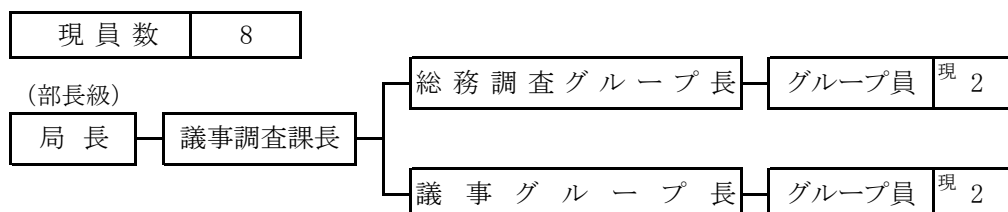
会 派 又 は 議 員	1人につき月額	30,000 円	※毎年4月に12月分を交付
-------------	---------	----------	---------------

8. 議会費の令和7年度予算

(単位:千円)

節	予算額	節	予算額
報酬	127,840	需用費	6,581
給料	34,879	役務費	437
職員手当等	62,308	委託料	5,429
共済費	44,841	使用料及び賃借料	4,517
報償費	200	備品購入費	0
旅費	7,309	負担金補助及び交付金	10,467
交際費	500	公課費	46
		合計	305,354

9. 議会事務局

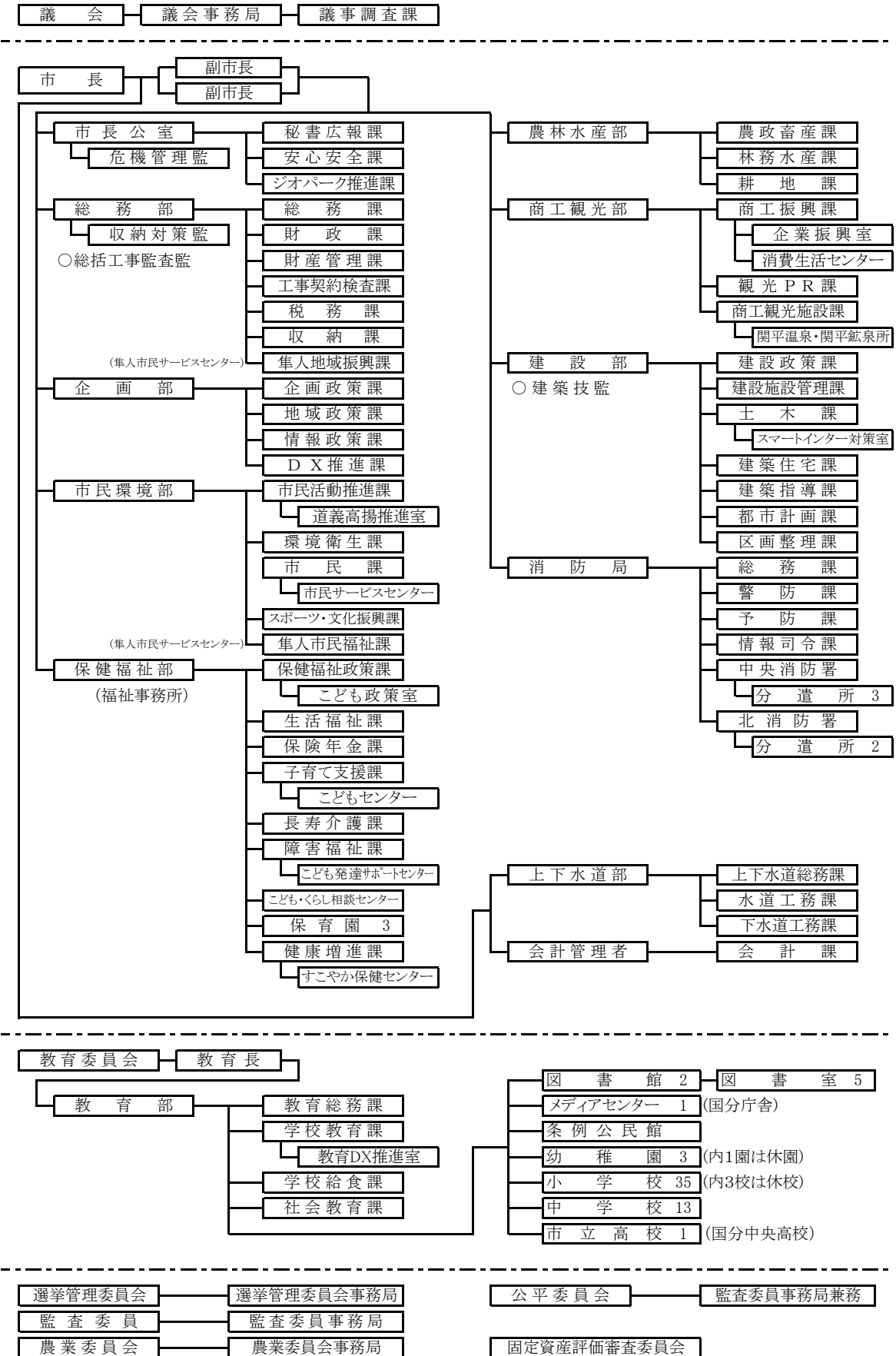


10. 標準的な会期

日	月	火	水	木	金	土
24	25	26	27	28	29	30
		招集告示 議運	一般質問通告(議運翌日の午前8時30分から)			
1	2	3	4	5	6	7
		本会議 全協	議運		質疑討論通告 (2日前(休日除)の午後1時から)	
		初日の翌日午前8時30分まで				
8	9	10	11	12	13	14
		本会議 ・質疑 ・議案処理 ・一般質問	本会議 ・一般質問	本会議 ・一般質問	本会議 ・一般質問	
		質疑討論の前日正午まで				
15	16	17	18	19	20	21
	委員会審査	委員会審査	委員会審査	委員会審査		
22	23	24	25	26	27	28
		討論通告 (2日前(休日を除く)の午後1時から最終日前日の正午まで)	議運	本会議 ・委員長報告 ・採決		
29	30	31	1	2	3	4

第 3 編 市 政 の 概 要

1. 行政機構図 (令和7年4月1日)



2. 各総合支所

溝 辺 総 合 支 所	地域振興課	市民生活課
横 川 総 合 支 所	地域振興課	市民生活課
牧 園 総 合 支 所	地域振興課	市民生活課
霧 島 総 合 支 所	地域振興課	市民生活課
福 山 総 合 支 所	地域振興課	市民生活課

3. その他関係団体

霧 島 市 土 地 開 発 公 社	霧 島 市 土 地 開 発 公 社 事 務 局
一般財団法人霧島市施設管理公社	一般財団法人霧島市施設管理公社事務局
伊 佐 北 始 良 火 葬 場 管 理 組 合	伊 佐 北 始 良 火 葬 場 管 理 組 合 事 務 局
始 良 ・ 伊 佐 地 区 介 護 保 険 組 合	始 良 ・ 伊 佐 地 区 介 護 保 険 組 合 事 務 局

4. 職員数

部 局 名	条例定数	R7.4.1	R6.4.1	備 考
市 長 の 事 務 部 局 の 職 員	764	688	690	
議 会 の 事 務 部 局 の 職 員	11	8	8	
選挙管理委員会の事務部局の職員	3	3	3	
公平委員会の事務部局の職員	4	0	0	監査委員事務局兼務
監 査 委 員 の 事 務 部 局 の 職 員	4	3	3	
農 業 委 員 会 の 事 務 部 局 の 職 員	9	9	8	
教育委員会の事務局及び教育委員会の所管に属する学校以外の教育機関の事務部局の職員	95	66	66	
教育委員会の所管に属する学校の職員	133	89	94	
公営企業(上下水道事業)の事務部局の職員	38	36	34	
消 防 局 の 職 員	189	181	184	
総 計	1,250	1,083	1,090	

資料 企画政策課

5. 予算の状況

(1) 会計別予算

(単位:千円)

会 計 別	令 和 7 年 度		令 和 6 年 度		増減率 (%)
	予 算 額	構 成 比	予 算 額	構 成 比	
一 般 会 計	80,660,000	74.2%	69,580,000	71.3%	15.9
特 別 会 計	27,984,416	25.8%	27,936,123	28.7%	0.2
国民健康保険	14,218,606	(13.1%)	14,514,501	(14.9%)	(△ 2.0)
後期高齢者医療	1,965,161	(1.8%)	1,912,727	(2.0%)	(2.7)
介護保険	11,698,868	(10.8%)	11,412,721	(11.7%)	(2.5)
交通災害共済事業	17,981	(0.0%)	16,749	(0.0%)	(7.4)
温泉供給	83,800	(0.1%)	79,425	(0.1%)	(5.5)
合 計	108,644,416	100.0%	97,516,123	100.0%	11.4

会計別	令和7年度	令和6年度	増減率(%)
企 業 会 計	19,513,791	28,883,831	△ 32.4
水道事業	4,526,305	5,354,243	(△ 15.5)
工業用水道事業	27,437	27,670	(△ 0.8)
病院事業	11,477,914	19,901,858	(△ 42.3)
下水道事業	3,482,135	3,600,060	(△ 3.3)

※企業会計は、収益的支出及び資本的支出の合計額で示した。

(2) 一般会計歳入予算

(単位:千円)

区 分	令 和 7 年 度		令 和 6 年 度		増減率 (%)
	予 算 額	構 成 比	予 算 額	構 成 比	
1. 市 税	16,813,201	20.8%	16,027,001	23.0%	4.9
2. 地 方 譲 与 税	760,000	0.9%	755,000	1.1%	0.7
3. 利子割交付金	3,000	0.0%	3,000	0.0%	0.0
4. 配当割交付金	30,000	0.0%	30,000	0.0%	0.0
5. 株式等譲渡所得割交付金	40,000	0.1%	40,000	0.1%	0.0
6. 法人事業税交付金	200,000	0.2%	190,000	0.3%	5.3
7. 地方消費税交付金	3,100,000	3.8%	3,000,000	4.3%	3.3
8. ゴルフ場利用税交付金	45,000	0.1%	45,000	0.1%	0.0
9. 環境性能割交付金	21,000	0.0%	21,000	0.0%	0.0
10. 国有提供施設等所在 市町村助成交付金	1,266	0.0%	1,472	0.0%	△ 14.0
11. 地方特例交付税	60,000	0.1%	578,000	0.8%	△ 89.6
12. 地 方 交 付 税	13,300,000	16.5%	13,300,000	19.1%	0.0
13. 交通安全対策特別交付金	16,000	0.0%	30,000	0.0%	△ 46.7
14. 分担金及び負担金	113,470	0.1%	113,206	0.2%	0.2
15. 使用料及び手数料	1,783,342	2.2%	1,764,914	2.5%	1.0
16. 国 庫 支 出 金	18,448,391	22.9%	14,814,046	21.3%	24.5
17. 県 支 出 金	5,796,050	7.2%	5,537,938	8.0%	4.7
18. 財 産 収 入	236,557	0.3%	330,668	0.5%	△ 28.5
19. 寄 付 金	1,509,801	1.9%	1,509,301	2.2%	0.0
20. 繰 入 金	6,750,966	8.4%	4,825,579	6.9%	39.9
21. 繰 越 金	200,000	0.3%	200,000	0.3%	0.0
22. 諸 収 入	1,383,856	1.7%	1,432,975	2.1%	△ 3.4
23. 市 債	10,048,100	12.5%	5,030,900	7.2%	99.7
合 計	80,660,000	100.0%	69,580,000	100.0%	15.9

(3)一般会計歳出予算

(単位:千円)

区 分	令和 7 年 度		令和 6 年 度		増減率 (%)
	予 算 額	構 成 比	予 算 額	構 成 比	
1. 議 会 費	305,354	0.4%	308,676	0.4%	△ 1.1
2. 総 務 費	9,521,089	11.8%	9,453,543	13.6%	0.7
3. 民 生 費	29,822,115	37.0%	28,082,428	40.4%	6.2
4. 衛 生 費	14,769,056	18.3%	6,442,223	9.3%	129.3
5. 労 働 費	43,926	0.0%	32,203	0.1%	36.4
6. 農 林 水 産 業 費	2,031,603	2.5%	2,199,088	3.2%	△ 7.6
7. 商 工 費	1,020,775	1.3%	970,314	1.4%	5.2
8. 土 木 費	4,557,299	5.7%	5,844,847	8.4%	△ 22.0
9. 消 防 費	2,512,142	3.1%	2,247,030	3.2%	11.8
10. 教 育 費	7,835,211	9.7%	6,751,317	9.7%	16.1
11. 災 害 復 旧 費	256,874	0.3%	341,998	0.5%	△ 24.9
12. 公 債 費	6,016,711	7.5%	5,936,335	8.5%	1.4
13. 諸 支 出 金	1,937,845	2.4%	939,998	1.4%	106.2
14. 予 備 費	30,000	0.0%	30,000	0.0%	0.0
合 計	80,660,000	100.0%	69,580,000	100.0%	15.9

(4)財源別内訳

(単位:千円)

区 分	令和 7 年 度		令和 6 年 度		増減率 (%)
	予 算 額	構 成 比	予 算 額	構 成 比	
自 主 財 源	28,791,193	35.7%	26,203,644	37.7%	9.9
依 存 財 源	51,868,807	64.3%	43,376,356	62.3%	19.6
合 計	80,660,000	100.0%	69,580,000	100.0%	15.9

(単位:千円)

区 分	令和 7 年 度		令和 6 年 度		増減率 (%)
	予 算 額	構 成 比	予 算 額	構 成 比	
特 定 財 源	42,444,058	52.6%	33,039,609	47.5%	28.5
一 般 財 源	38,215,942	47.4%	36,540,391	52.5%	4.6
合 計	80,660,000	100.0%	69,580,000	100.0%	15.9

(5)市税の内訳

(単位:千円)

区 分	令和 7 年 度		令和 6 年 度		増減率 (%)
	予 算 額	構 成 比	予 算 額	構 成 比	
市 民 税	6,326,000	37.6%	5,733,500	35.8%	10.3
個 人 分	5,524,300	(32.9%)	4,931,300	(30.8%)	(12.0)
法 人 分	801,700	(4.8%)	802,200	(5.0%)	(△ 0.1)
固 定 資 産 税	8,434,400	50.2%	8,259,700	51.5%	2.1
軽 自 動 車 税	540,000	3.2%	524,200	3.3%	3.0
市 た ば こ 税	900,000	5.4%	900,000	5.6%	0.0
入 湯 税	90,001	0.5%	86,001	0.5%	4.7
都 市 計 画 税	522,800	3.1%	523,600	3.3%	△ 0.2
合 計	16,813,201	100.0%	16,027,001	100.0%	4.9

(6) 性質別内訳

(単位:千円)

区 分		令和7年度		令和6年度		増減率 (%)
		予算額	構成比	予算額	構成比	
義務的経費		38,543,584	47.8%	36,601,230	52.6%	5.3
内 訳	人件費	11,538,591	(14.3%)	11,396,355	(16.4%)	(1.2)
	扶助費	20,988,282	(26.0%)	19,268,540	(27.7%)	(8.9)
	公債費	6,016,711	(7.5%)	5,936,335	(8.5%)	(1.4)
投資的経費		19,064,885	23.6%	11,184,974	16.1%	70.5
内 訳	普通建設事業	18,808,011	(23.3%)	10,842,976	(15.6%)	(73.5)
	うち補助事業	13,353,141	16.5%	5,788,815	8.3%	130.7
	単独事業	5,454,870	6.8%	5,054,161	7.3%	7.9
	災害復旧事業	256,874	(0.3%)	341,998	(0.5%)	(△ 24.9)
その他の経費		23,051,531	28.6%	21,793,796	31.3%	5.8
内 訳	物件費	9,137,786	(11.3%)	8,135,791	(11.7%)	(12.3)
	維持補修費	1,010,128	(1.3%)	1,134,254	(1.6%)	(△ 10.9)
	補助費等	5,530,138	(6.9%)	5,535,926	(8.0%)	(△ 0.1)
	投資及び出資金	228,922	(0.3%)			皆増
	貸付金	161,654	(0.2%)	85,238	(0.1%)	(89.7)
	積立金	1,652,837	(2.0%)	1,636,274	(2.4%)	(1.0)
	操出金	5,300,066	(6.6%)	5,236,313	(7.5%)	(1.2)
	予備費	30,000	(0.0%)	30,000	(0.0%)	(0.0)
合 計		80,660,000	100.0%	69,580,000	100.0%	15.9

(7) 財政の指数等

(単位:千円、%)

	令和5年度決算	令和4年度決算	備 考
財 政 力 指 数	0.54	0.54	
標準財政規模	35,275,325	34,669,626	
基準財政収入額	17,109,324	16,203,163	
基準財政需要額	30,540,092	29,843,088	
経常一般財源収入額	35,068,400	34,710,671	
実質収支比率	9.3	10.2	
経常一般財源比率	99.4	100.1	
経常収支比率	87.8	87.2	
公債費負担比率	12.8	14.2	
実質公債費比率	6.0	6.5	
実質赤字比率	-	-	赤字額がないため、「-」 で表示
連結実質赤字比率	-	-	
将来負担比率	-	-	

第 4 編 そ の 他

1. 市庁舎(シビックセンター)の概要

(※ 平成9年1月供用開始)

(1) 名称の由来

Capability	将来性、伸びる素質、能力
Imagination	創造力、創作力
Vitality	活力、活気、生命力
Intellect	知性、英知、知力
Cosmos	調和、秩序、宇宙、コスモス

議会棟、行政棟、複合施設棟（多目的ホール、メディアセンター、公民館、図書館、スポーツ施設）、お祭広場（兼駐車場）、市民広場からなり、これらを総称して「国分シビックセンター」と呼びます。

(2) 背景と経緯

旧国分市では、市庁舎を昭和31年に建設して以降、人口の増加に比例して職員を増強したため、昭和44年、58年と庁舎の増築を繰り返していました。しかし、職員数の増加に追いつかず、依然として狭隘な執務空間、増築による庁舎の迷路化、さらに男女共用のトイレなど、問題が顕在化してきました。

そこで、市制施行40周年を期に、人口規模7万人を想定して、複雑・多様化する市民サービスに対応できる規模、設備を整えた市庁舎の建設に着手しました。

平成元年	庁舎建設構想委員会設置、調査研究開始
平成3年	庁舎建設表明（議会において）
平成4年	基本構想、基本計画着手。基本構想、基本設計完了
(平成5年)	(着工予定だったが豪雨災害発生のため市民感情を考慮して延期)
平成6年	着工
平成8年	シビックセンター全体工事竣工。落成式、一般公開
平成9年	供用開始
平成17年	1市6町合併による新市「霧島市」本庁舎
平成27年	別館建築工事着工
平成29年	別館（1階、2階に保健福祉部門を集約）供用開始

(3) 建物の面積

行政棟(8階建て)	9,852 m ²	
議会棟(4階建て)	3,049 m ²	
複合施設棟(4階建て)	8,916 m ²	図書館、公民館、メディアセンター、多目的ホール他
別館(4階建て)	5,430 m ²	
その他施設	897 m ²	
合計	28,144 m ²	(約8,528坪)

(4) 議会棟の主な施設概要

1階	収納課、会計課
2階	正副議長室、応接室、事務室、議員控室
3階	議場、第1委員会室、第2委員会室、全員協議会室、議員図書室、理事者控室、議員ロビー
4階	第3委員会室、第4委員会室、傍聴席(68席)、録音室

2. 議会だよりの概要

(1) 名称及び創刊	名称	霧島市議会だより
	創刊	平成18年3月
(2) 形式	規格	A4版 20頁 綴じ穴2穴開け 新春号は4頁
	組型	6段組を基本に、ページにより変更
	紙質	再生紙
	活字	規定なし
	印刷	4色
(3) 発行	部数	40,500部
	回数	定例会毎に年4回
	発行日	5月、8月、11月、2月の上旬 2年に1回新春号を発行（議会構成の変更に伴うもの）
(4) 配付先		市内全世帯、市内公共施設など
(5) 配付方法		自治会長を通じて配布、市内のスーパー等へ配布
(6) 編集にあたる委員会		広報広聴常任委員会
(7) 掲載内容		特集記事、予算審査の内容、3常任委員会レポート、一般質問、 議案審議結果、陳情審査報告、賛否の分かれた議案の表決結果、 議員と語ろかい、その他議会の活動に関すること
(8) 作業日程		1 広報広聴常任委員会 校正①（一般質問後2週間以内） 2 広報広聴常任委員会 校正②（校正①の翌週） 3 広報広聴常任委員会 校正③ 4 広報広聴常任委員会 校正④、次号企画 5 正・副委員長確認 6 校了



世界に開く、人と自然・歴史・文化がふれあう都市

鹿児島県霧島市国分中央三丁目45番1号

T E L 0995-45-5111（代表）

0995-64-0922（直通）

F A X 0995-64-0923

E-mail gikai@city-kirishima.jp